

二〇一〇年こんぴらエンタメかわらばん

最終号

2010年
12月3日(金)

編集・発行
2010 こんぴらエンタメ
全国発信プロジェクト実行委員会
瓦版屋 遅筆堂点々
※すべて入場料は無料です

十二月四日(土)

入場 無料

新年一月八日(土)

入場 無料

こんぴら落弁 お披露目



数十年の時を越え、活弁士がこんぴらエンタメで復活する。活弁士とは、映画にまだ音声がなかった頃に、映画の上映中、スクリーンの横に立ち、映画の内容を解説していた人たちのこと。実は昭和初期には、琴平町でも活弁士が活躍し、映画館も賑わっていたとのこと。今回、活弁復活に取り組んだのは、町人有志の6名。基本の腹式呼吸や発声練習から取り組んだ。実は、遅筆堂点々記者も、練習を取材し、受講生と一緒に発声練習にチャレンジ。しかし、見た目の簡単さとは裏腹に、息が持たないうえに、空腹に耐えか

ねドロッツアウト。活弁は想像以上にハード。余談が長くなってしまっただが・・・先生から合本が手渡され、各自、発表する話を練習。受講生の練習の凄さは、書き込みで真っ赤になり、いろいろなところへ持ち歩くのでジワジワになった合本が物語る。そんな受講生の練習の成果をぜひ見ていただきたい。

活弁のおもしろさは、ずばり、語り口。一人で全ての役を担当するため、声質を変え、気持ちの切り替えなくてはならない。そんな臨場感溢れるテンポよい語り口に、知らぬ間に物語に引き込まれること間違いなし。まずは一度聴いてくださいな。活弁終了後、研ナオコ主演のこんぴらロウの「メロイ映画」にっぽん美女物語 女の中の女」も上映予定。
●十二月四日(土)
午後7時、
於 泉郷農協ふれあいセンター



町人Sさん

町人Wさん

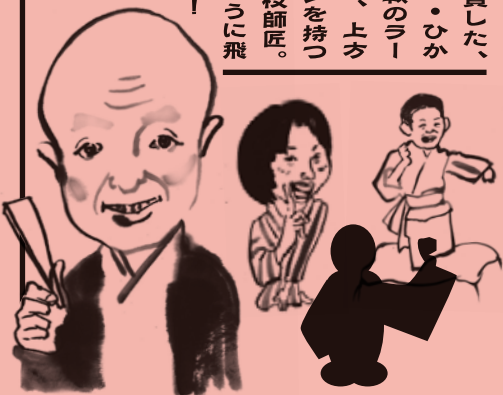
於 泉郷農協ふれあいセンター

こんぴら温泉まつり 金陵の郷イベント

- 桂こけ枝
- 瀬流亭 謙笑
- 日向家 ひかる
- ラーメンの家 英吉

こんぴら創作落語、満を持してお披露目である。「せっかく創作するんやったら、地元琴平のネタがいいなあ」そんな何気ない一言が現実には、江戸時代のこんぴら参りを題材にした創作落語がついに完成。できたてほやほやのお断をリレー形式で披露する。まずは、こども落語大会の全国チャンピオン潮流亭謙笑くん(ちうりゅうゆうい・けんしょう)、ついで、大

●新年一月八日(土)
午前11時、
於 金陵の郷



最近、町内を時代劇から抜け出してきたような怪しい人々が歩いてるのを見かけた方も多いのではないだろうか。「見た、見た、見た」と興奮気味に語るの町人Mさん。それは、こんぴらエンタメ的名所案内ビデオ撮影の没者さんたち。名所案内ビデオは、琴平町のPRはもとより、琴平町の歴史や文化、そして楽しさ・おもしろさを味わってもら

ことがねらい。また将来的には、撮影した映像をデータベース化することによって、より多くのお客様に向けての情報発信ができるようにしていきたいと、町人Uさんをはじめ関係者は思っているのである。実は没者さんたちは、O町長を筆頭にボランティアガイドの皆さん、商工会の若い衆(青年部)である。江戸時代の衣装を身にまとい、町内の名所を案内するビデ



町人Uさん

町人Mさん

オに出演中である。町人Uさんも出演中。残念ながらビデオでは見ることができないが、ハリウッドもびびくり？な綿密な演技の打ち合わせが行われていた。そんなこんぴらエンタメ的名所案内ビデオ、もう3期続!

今月のヒトコト

う〜ん、どれが「にっぽん美女物語」のポスターなんかかわからんなあ...



たしか昭和の
こんぴらが
舞台やったの！

この瓦版に似顔絵で登場してくれたワーキング委員の若い衆を中心に、大勢の方々が、この不景気なご時世に、町に元気の風を吹き込もうと、ほんまに一所懸命に取り組んで下さった。さて、これからは、そんな熱い「人」が、表の舞台に登場して来るぞ！半世紀の時を超えて復活する活弁士を始め、琴平初の落語家や可愛いチビッコ木戸芸者の誕生にも大きな期待がかかるぞ。じゃ。ワシは、今回の「こんぴらエンタメ」を通して、新しい町おこしの輪が世代や団体の枠を越えて広がっていくのが、ほんまに嬉しゅうて、たまらんのじゃよ。ウウウ...(泣)ワシも、隠居するには早いかもしれん！なんぞ、「こんぴらエンタメ」に挑戦してみようかのう。実は、ワシも主役の一人になりたいんじゃ(笑)